



もいわ山ロープウェイから札幌市内を望む

平松記念病院における「研修」

当院の研修委員会は、平成16年に「病院の理念・基本方針を実現し、適切な精神医療を行うことを目指す」ことを目的として、各部署代表10名が集って創設されました。毎年4月に開催される「新人研修会」や毎月恒例の「症例検討会」、院内感染対策・医療安全対策・褥瘡対策・接遇や、最近のトピックを取り上げた勉強会などの他、最近では外部講師を招聘しての研修会も数多く開催しています。

精神障害を抱える方々やそのご家族の支援について、多くの専門職種は独自の「学会」や「学会誌」を持っており、自らの実践や調査などを発表しあっています。当院ではまだこの点は充分とはいえませんが、今後はこれまで以上に根拠のあるデータを示して臨床に関与していくことが求められていきます。そこで、まだまだ未熟ではありますが、「院内研究発表会」という職員相互の研究発表・実践報告の場も用意しています。最近では、研修委員会の下部組織として組成された「看護部研修委員会」が中心となって開催する「看護研究発表会」という取り組みも始まっています。

最後になりますが、同一のテーマに基づく研修に全ての職員が参加することで、少しずつではありますが当院の目指す「チーム医療」の必要性・重要性が病院全体に浸透しつつあります。職員一人ひとりの弛まぬ自己研鑽により、専門職として、そして病院職員として一定の高い質を有することを担保できるシステムが当院に根付くよう、当委員会の機能と役割を円滑に遂行していきたいと考えています。

平松記念病院 研修委員会 委員長



平松記念病院

ききるの

ネットワーク

地域連携その4

もいわ山ロープウェイ

「山麓駅」札幌市中央区伏見5丁目3-7

●市電「ロープウェイ入口」

電停より徒歩8分

TEL (011)561-8177



記念すべき「こころのネットワーク」第10回目は、満を持して「もいわ山ロープウェイ」の登場です。札幌市民なら誰もが知っている、ご存知「藻岩山」。当該名もその名前をいただいています。ロープウェイが山の中腹を行き交う姿は、札幌随一の観光名所に相応しい風情と情緒を醸し出してくれます。みなさんはロープウェイに乗車したことありますか？



もいわ山ロープウェイのご紹介



展望台への往復に欠かせないロープウェイ！

もいわ山は、かつてアイヌ語で「インカルシベ(いつもそこに上がって見張りをするところ)」と意味しました。明治時代には各地で貴重な原始林が失われていく中で、もいわ山原始林が1921(大正10)年3月3日に北海道で第1号の天然記念物として指定を受けました。

ロープウェイが開通したのは1958(昭和33)年のことです。開業当時は、8人乗りのゴンドラで山麓駅～山頂駅の間を10分で結んでいました。現在のゴンドラと比べると大分小さいサイズだったようです。1971(昭和46)年には66人ゴンドラ2台に入れ替えて、同じ距離を5分間で行くことが

出来るようになりました。かつては、ロープウェイの到着場所の中頂駅から展望台まで登るために、リフトを利用していましたが老朽化も進み2005(平成17)年から運休しているため、現在は山頂駅～展望台の区間を走る無料シャトルバスの「もーりす号」に乗り換えて展望台までのご案内となります。

山頂展望台から眺めることの出来る夜景は、もいわ山のイチオシポイントです。札幌の街並みや雄大な山々が連なる絶景が楽しめます。ロープウェイの営業時間は、4月9日～11月19日は10:30～21:30(下り最終)、6月1日～9月30日は10:30～22:00(下り最終)、12月10日～3月31日は11:00～20:00(下り最終)、12月31日は11:00～15:00(下り最終)、元旦は5:00～12:00(下り最終)、クリスマスと雪祭り期間中は11:00～21:00(下り最終)となっています。4月1日～4月8日、11月20日～12月9日は運休期間となっ



もーりす号

ます。ロープウェイ料金は、大人往復1100円、片道600円。小人は往復550円、片道300円です。お越しになったことがある方もまだロープウェイをご利用したことが無い方も、ゴンドラの中で味わうことの出来る壮大な景色と展望台から見ることの出来る美しい景色を是非見にいらして下さい。



運行の安全を守ってくれています。



もいわ山ロープウェイ庶務係 谷口 大輔

平松アワー

笑って きくととも



こん ちよこ
金 由起子です。
宜しくお願い
いたします。

今回のゲストは
この方!!
こん ちよこ
金 由起子さん

第4回目の「笑ってきくととも」のゲストはリハビリスタッフの金由起子さんです。金さんは、「知る人ぞ知る」、女子野球全日本代表です。昨年は見事、ワールドカップで金メダルを獲得しました。持ち前の明るさとスピーディな仕事ぶりで患者さんへ良いリハビリテーションを提供しています。それでは、金さん宜しくお願いします。

金 由起子
プロフィール
(こん ちよこ)

1977年9月20日、北海道天塩町にて出生。兄の影響で9歳の頃から地元の少年野球チームに所属。以来、ずっと野球を続ける。高校卒業後、札幌の女子野球チームに所属し、2000年より6期連続で女子野球日本代表に選出される。2005年からある縁があって平松記念病院に入職、忙しい毎日の中で仕事と野球の両立を果たす。そして、ついに昨年2008年には、全日本女子野球チームの副キャプテンとしてワールドカップに出場し、見事に世界一(金メダル)を獲得する。



欧ちゃんも必撮にしてくださいました

初めまして、金由起子といいます。私は2005年に自分の所属する野球部の監督から「スポーツインストラクターの女性スタッフを探している精神科病院があるけれど働いてみないか?」という話をいただきました。私のこれまでの経験が、障害を持つ方々の役に立てるのだろうかという興味を抱き、「ぜひ働いてみたい」と思い、平松記念病院に就職させていただきました。小さい頃からずっと野球をしていましたから、「挨拶はきちんとするように」と言われて育ってきたので、患者さんやスタッフに対して抵抗なく挨拶できるということが自分の一番の長所だと思います。そのせいか、初対面の方でもコミュニケーションを取ることは、それ程苦労はしていないような気がします。

野球というスポーツは、一人では出来ないので、常にチームワークを大切にしなければなりません。そういった点を、自分のチーム内の新人や後輩にアドバイスすることがよくあります。現在病院ではスポーツ系のプログラムに関わる事が多いので、そういった経験が患者さんにも少しは還元できているのかな?と想着います。仕事では、入院している患者さんやデイケアのメンバーさん達が怪我の無いように、そして楽しく活動に参加できることを常に意識しながら関わらせていただいています。そして、体を動かすことで少しでも健康に対する意識が向上してくれたら嬉しいと願っています。

野球の練習や試合で怪我をすることは一生懸命やった結果なので仕方がないことだと思うのですが、それ以外の日常生活では怪我や病気をしないように私はいつも気をつけています。

怪我で野球が出来なくなることだけは本当に悔しいですからね。そういう意味からも、健康管理には人一倍気を使っていると思います。みなさんも自己管理を徹底し、毎日を健康に過ごしていただければ幸いです。

ありがとうございました。金さんは次に自分が何をしたいかということや常々考えながら、今自分にできる最高のプレイ(仕事)をしてくれる人です。今後も仕事でも野球でも更なる活躍の場が広がっていくことを期待しています。



チームメイトと喜びを共に!



金メダルを下げてみんなで記念撮影



予告ホームラン!



今回は 看護師の「名嘉元 竜二」さんへバトンを渡したいと思います

また次回も聞かせてくれるかな?

★クリスマス会2008

平成20年12月10日(水)、合同レクリエーション「クリスマス会」が開催されました。今年も各病棟や職員からの発表で合唱やダンスが披露され、会場中をくぎ付けにしました。☆点灯式やキャンドルサービスも行われ、会場は素敵なクリスマス気分になりました。



我らが「内林美容室」だ!



キャンドルサービスはとても幻想的でした。

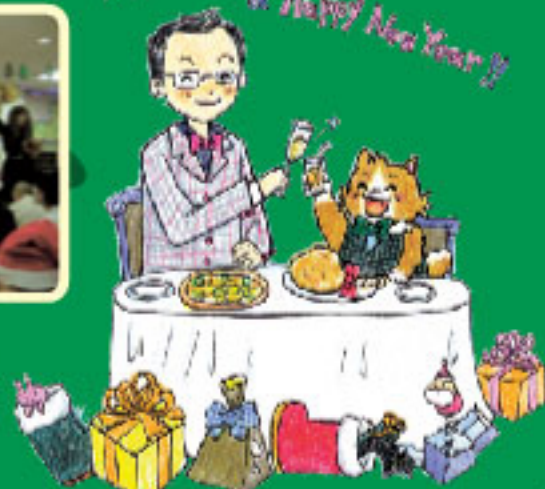


患者さんと職員の協同による音楽演奏



旺盛!? 新人コメディカルスタッフによる「聴取心ライブ」!!

Wish you a Merry Christmas & Happy New Year!



文化祭

平成20年10月8日(水)に毎年恒例の「文化祭」が開催されました。ダイケアや病棟の作業療法などで作られた多数の作品が展示されました。中には手作りとは到底思えないくらいに完成された作品も多く見受けられ、盛会のうちに終わった文化祭となりました。来年の文化祭も今から楽しみです。



理念

適切な精神科医療・保健・福祉をめざし、次の二つの柱を基礎に据えます。

1. 精神障害者の医療および保護を行い、自立のために社会復帰および社会的経済活動への支援をします。
2. その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上をめざし、地域に根ざした病院を目指します。

医療法人社団慈恵会 平松記念病院

編集後記



世界的に未曾有の大不況が押し寄せてきているようですね。暗い話題が多い中で、金さんのような明るい話題を提供できることを嬉しく思います。今後もより良い広報活動を通して、関係機関や地域みなさんと共に歩んでいけるような病院づくりを目指していきたいと思ひます。

尾形

発行人 平松記念病院 広報委員会 発行日 2009年1月25日
〒064-8536 札幌市中央区南22条西14丁目
ホームページ: <http://www.hiramatsu-mhp.or.jp>
E-mail: webmaster@hiramatsu-mhp.or.jp
TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710